

提携米通信

2019年6月号・黒瀬農舎

北国・秋田で、30℃の真夏日が続く中の田植えを初体験しました。



好天続きでが順調な田植えができました。

このボラのグリーンベルトを背景にした写真、ご覧頂いたことあると思います。そうなんです。お届けしているお米の真空バック袋の構図です。今年の好天で春作業はとても快調でした。

2019.5.23 撮影

田植え、すこぶる順調に無事終了しました。

不順な天候の「表」が4月から続いており、5月もほとんど雨のない、好天続きでした。

村自慢の10Kmを超える菜の花と桜ロードの桜は、いつもですと連休中ずっと愉しめるのですが、今年は気温が高く、咲き始めから、ほんの数日で「葉桜」となりました。

当地では、寒い年の桜は、咲き始めてから散るまでの間が長く、2週間近くに及ぶことがあります。

このような低温年は、桜の花のピンクや桜色が長期に及ぶとだんだん褪せて、惨めな白い桜になってしまいます。こうなると「やっぱり桜の好きは、潔よさだ。」と思うのですが、暖地と同じようにアツという間に散った今年は、余りにも儂なさを感じるものです。

ところで、春作業、この好天続きで苗も順調に育ち、プラウ耕やレベラー作業が、ゆっくりと落ち着いて行えました。このような楽な春作業が出来たのは始めてです。

気温が高く、苗が早く成長し、予定より少し早く5月20日過ぎから田植えを始めました。

ストーブを持ち出さねば昼食休憩ができない年や、寒い強風が続いて、田植え作業を中断する年も時々ありますが、今年は一日も作業中断する日がないだけでなく北海道の佐呂間で39.5℃という異常高温が記録された5月26日前後は、当地も30℃前後という経験したことのない真夏日の中の田植えでした。

この春作業中の好天気、イネも作業もすこぶる順調で大助かりですが、これらみな異常気象の「表側」。今後この「裏」が来る時期があるのでしょうか。喜びながら心配がつる年です。

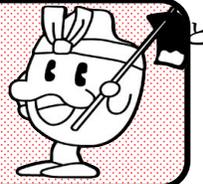
提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

黒瀬 正・友基

TEL:0185-45-3088 FAX:45-2887



ここで、

E-mail: akita@kurose.com Web: [提携米 黒瀬農舎](#)

★我が農舎は、電話受付の専任スタッフはおりません。日中は倉庫作業等で、留守電受けが多くなります。ご了承ください。

★電話は、日祭日や、夜間もOKです。

★お米のご贈答利用も宜しく願います。

★黒瀬農舎からの返信メールが自動的に迷惑メールフォルダに分類されていることがあるようです。返信のメールが届かない場合は迷惑メールフォルダの確認やメールの設定をご確認下さい。

★宅配便運賃の値上がりに伴い、複数の運送会社を使うことに致しました。そのため、出荷日/サイズ/お届け先によっては、以前(前回)と運送会社が異なることがあります。ご了承下さい。

有機栽培は、田植えが終われば、雑草との闘いです。

何度も自慢している我が村の「菜の花と桜ロード」。今年は例年より早めに咲き始め、あっという間に潔く散りましたが、我がロッジには、連休の期間家族連れの消費者が2、3組ご訪問下さいましたが、なかなか「見頃」のご来訪とはなりません。

今までこの時期にお越し頂いた方も、また、未訪問の方も共に、一度パソコンを叩いて、次ぎのユーチューブ動画をご覧下さい。

検索ワードは

「ユーチューブ 大潟村菜の花と桜ロード」

地元のTV局やマニアが何本も綺麗な動画を載せています。私の自慢をご理解頂けると幸いです。



我が家のチビたち、今までは農繁期の土
でなる、と長遊では6年生の土
目にもなる、は、1は、少と2
番目の、田圃は、来4年、生は、ほん番小の下の少しと年なり
まな男、活動は、トラ友、人、の、は、2と、長女は、す、と、ケ
く、長、活、少、や、な、の、は、と、過、生、の、す、と、ケ
く、長、活、少、や、な、の、は、と、過、生、の、す、と、ケ
志、だ、つ、と、早、頼、も、し、い、も、の、の、子
志、だ、つ、と、早、頼、も、し、い、も、の、の、子
の、成、長、は、早、く、頼、も、し、い、も、の、の、子

撮影 = 2019.5.25

余談ですが・・・パソコン情報やユーチューブ動画は、修理や農機具製作・改良時によくお世話になっています。例えば、旋盤の操作方法、キャブレターの分解、電気溶接etc。この春は末っ子の孫の自転車練習にも効果的でした。

この娘は、少し怖がり症で、今年の1年生の春、自転車練習中に転んだら、もう練習を放棄。この春「乗りたい」というので、爺の役目で教えるに当たり、ユーチューブ動画を色々観察して見れば、「乗らずに自転車を押して操ることを先ずは行うこと。」という非常に基本的で効果が上がりそうな教授法を見つけました。

早速試しました。右押し、左押し、押して操ることは2時間程度で直ぐにマスターしました。翌日、蹴り乗り2時間。その翌日、ペダル乗せ練習2時間程度。補助輪なしのまま、これで成功しました。

その翌日は、爺の自転車では、追いつけないスピード。予想以上の上達。その極意は「蹴り乗りの先に、先ずは、歩いて自転車を押し、自由に操る。」この基本マスターに尽きるようです。

これから自転車を教える子供や孫を持つ方、どうぞお試し下さい。



ところで、田植えが終わると数日で、稲は根付き（活着）始めます。それと同時に土中の雑草の種も芽を切り始めます。

雑草が芽を切る初期に、マガモ君たちが泳ぎまわってくると、雑草を根付かせずに大方を退治できるのですが、稲が十分に活着しない間に、カモ君を放つと苗が浮いてしまいます。

この間隙を補うため、放鳥前に、除草機を2度ほど掛け、雑草の初期発生を抑えます。

また、カモ君を入れる6月10日前頃からは、マガモ君たちを狙ってカラスの大群が飛来します。

田圃の水面で、カラスに襲撃された場合は、カモ君たちは機敏に逃げ被害は少ないですが、餌場などでカラスに襲撃されると「陸に上がった河童」同様に、水のない陸にいるカモは、ひとたまりもありません。そこで、餌場や陸の遊び場は全面に防鳥ネットを張り巡らします。

このように、田植えが終わっても、当分の間大忙しが続き、また、放鳥後は、毎朝4時には猟銃を担いで田圃に向かい、カラスを撃退する日々が続きます。

猟銃を持たずに田圃に行くと、追い払っても、ずうずうしく、しぶとく逃げようとしません。ところが、猟銃をもって田圃に向うと、車から猟銃を取り出さなくとも早々と逃げ去ります。この面では、カラスは頭が良いようです。

ところが、私はクレー射撃してもほとんどの外ればかり、さっぱり当たらず、仲間から、いつも笑われています。ですのでシーズン中にカラスを仕留めるのはほんの1、2羽。利巧と言われるカラスもこのことは知らず猟銃さえ持ち歩けば逃げるのです。カラスの頭はこの程度ようです。

マガモ君たちは7月10日頃まで頑張ってくれています。一度ご訪問下さい。